

柏原南多田住宅現況写真



外観 1 : 住棟北西側



コンクリート剥離状況

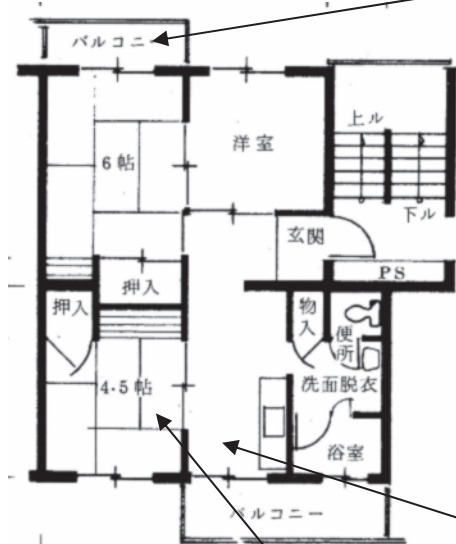


外観 2 : 住棟南東側



コンクリート剥離状況

柏原南多田住宅（建替前平面図）



49.64 m² (2号棟)



外部：手狭で防災上不安全なバルコニー



内部：手狭な台所

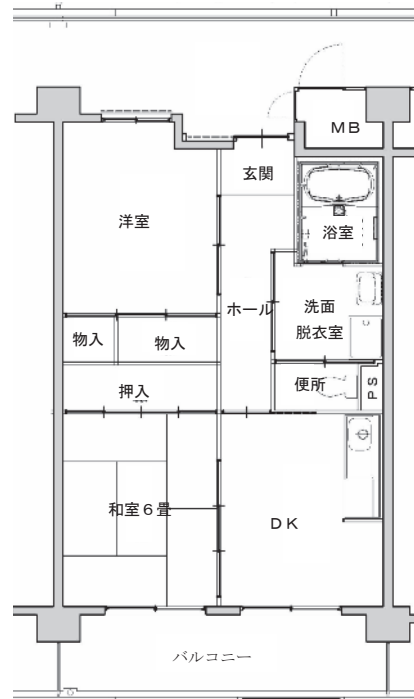


内部：天井の劣化

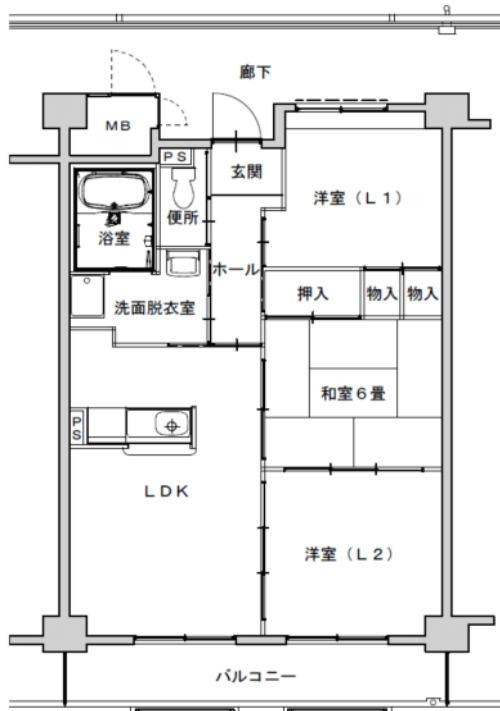
型別標準平面図（建替後平面図）



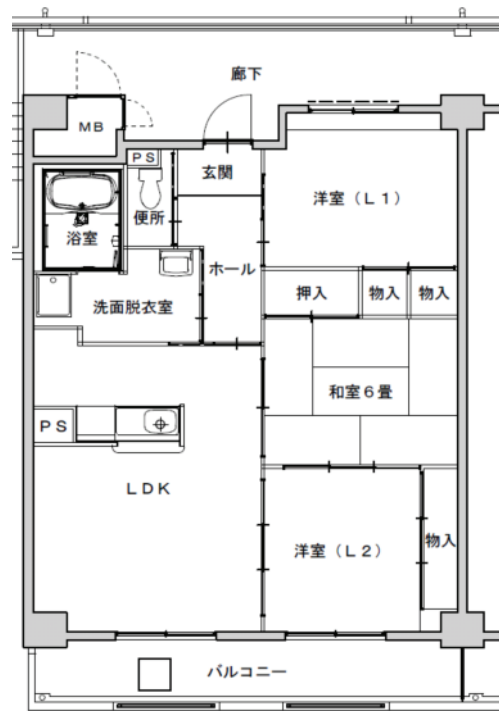
Sタイプ (39.6 m²)



Mタイプ (53.6 m²)
(高齢者向け特定目的住宅)



Lタイプ (65.6 m²)



Oタイプ (75.0 m²)

※Sタイプの全てとMタイプの一部については、高齢者向け特定目的住宅とする。
高齢者向け特定目的住宅・・・緊急通報システムなど的高齢者向け仕様で整備している。

※100戸以上の団地については、団地内の住戸のうち原則として1戸以上を車イス利用者向け住宅として整備する。

県営住宅整備事業の効果

対象事業：柏原南多田住宅建設事業（建替）

◎：建替えにより改善する項目

評価の視点	効果項目	該当する事業内容	
①安全・安心への対応	老朽住宅の更新	◎	耐用年数の1／2以上経過
	耐震性能の向上	◎	耐震性の確保
	耐火性能の向上	○	耐火性の確保
	防災性能の向上	◎	防火水槽、自動火災報知器の設置 など
	避難経路の確保	◎	2方向避難の確保 など
	防犯力の向上	◎	見通しの良い住棟計画、防犯性の高い鍵の設置 など
	雨水流出量の抑制	◎	駐車場を利用した調整池機能の確保 など
②少子化・高齢化への対応	居住水準の向上	◎	最低居住水準の確保（世帯構成に応じた型別供給） など
	設備水準の向上	◎	3点（流し台、浴室、洗面）給湯、ユニットバス など
	バリアフリー化	◎	いきいき県営住宅仕様による整備 など
	福祉と連携等	◎	高齢者特定目的住宅の整備による、福祉部局との将来連携の確保 など
③多様なニーズへの対応	駐車場の整備	◎	地域性に応じた駐車台数の確保 など
④地域コミュニティへの配慮	コミュニティ形成支援	◎	地域開放型集会所、幼児遊園の整備 など
⑤地球環境への貢献	環境への配慮	◎	太陽光発電・省エネ型設備機器の採用など環境に配慮した住宅への建替及び集約化
	緑化の推進	◎	有害な外来種等の排除など生物多様性に配慮した植栽、グラスパーキング、屋上緑化などの整備
	木造・木質化の推進	◎	内装木質化の採用 など